

もっと! みはらトピックス

ブドウ品質向上へ 剪定講習会

JAひろしま竹原ブドウ部会は12月24日、竹原市でブドウの剪定講習会を開きました。部会員やJA職員、JA広島果実連技師など19人が参加し、来季の結実確保と品質向上に向けた枝管理を確認しました。

講習会では、広島県西部農業技術指導所の職員が剪定や誘引などの枝管理の概要を説明し、部会員の園地で長梢剪定を実演。生産者は作業の仕方や順序、注意点を学び、積極的に質問しました。広島連の高本大輔技師は「講習



▲広島県西部農業技術指導所の担当者(右)から枝管理を学ぶ生産者

会を通じて長梢剪定の基礎基本を学んでいただき、特産ブドウの栽培技術の継承につなげたい」と話しました。

ブランド柑橘 自然熟シリーズ 出荷順調

JAせとだ選果場で12月上旬、高糖度で色が濃く、見た目の良い果実だけを厳選したブランド柑橘、自然熟シリーズの出荷が順調です。

12/4~ 自然熟蜜柑(品種:いしじ)



▲「自然熟蜜柑」を収穫する奥川さん

12/9~ 自然熟はれひめ



▲野崎部会長(右)とご家族

「自然熟蜜柑(品種:いしじ)は17戸が3.5haで栽培。生産者の奥川弘毅さんは一本の樹の中で品質のばらつきが少ないとされる主幹形仕立てを導入し、家族で栽培に取り組んでいます。また、ミカンのような甘味とオレ

どちらもマルチ栽培が条件だよ! 水分を抑えて糖度を上げ、反射光によって着色を促しているんだ!



◎ここまる

愛情たっぷり♡ 女性部のサトイモ

JAやっさふれあい市場で12月中旬、JA女性部三原地区本部中之町支部が栽培するサトイモ「おばさんのうまいも」の販売が始まりました。おすすめレシピ「サトイモのポターージュ」と「サトイモの白和え」を同封し、家庭での料理の幅を広げます。



▲サトイモのポターージュ、サトイモの白和え

同支部は、地域の遊休農地の活用と野菜作りを起点とした仲間づくりを目的に2018年から栽培を開始。落ち葉や油かすを使った自家製

堆肥を施し、安全・安心なサトイモ栽培に力を入れています。レシピは、JAひろしまのHPにて掲載しておりますので是非ご覧ください!



▲愛情込めて栽培したサトイモ「おばさんのうまいも」

親子でみかん餅 郷土の味次世代へ

JA幸崎支店ふれあい委員会は12月13日、小学生親子を対象に「親子で料理体験」を開きました。親子4組11人が参加

し、三原市幸崎町産のミカンを使った「みかん餅」と「サツマイモ餅」づくりを挑戦。食と農の大切さを伝え、郷土の味を次世代につなぐことを目的としています。



▲JA幸崎支店ふれあい委員会と料理体験参加者

進め、出来立てを味わいました。参加した向井文乃さん(7)は「出来立ては柔らかく、甘いミカンの味がしておいしかった」と笑顔で話しました。



水稲

「けい酸加里」で高温対策

近年、夏場の異常な高温により白未熟粒などの品質低下が問題となっています。

水稲の高温障害のひとつである白未熟粒は、登熟期(開花以降)に高温にさらされることによって発生しやすくなります。

稲体の活力が低下し、籾へのデンプン蓄積が阻害されて、中身が詰まらず、白く濁って見えます。

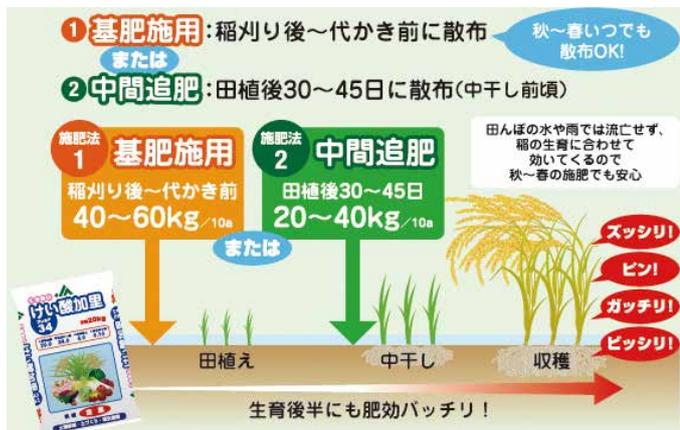
高温対策として、様々な方法が検討されていますが、ここでは「けい酸加里」についてご紹介します。

「けい酸加里」は、稲体を丈夫にし、光合成を促進するとともに、根張り向上による吸水・蒸散量の増加で、余分な熱を逃がす効果が期待できます。

これにより、高温ストレスを和らげ、光合成によってつくられたデンプンを籾へ蓄積しやすくなり、白未熟粒の発生を軽減します。

「けい酸加里」の成分は、中干し後の幼穂形成期ごろから多く必要にな

りますが、水に溶けず、根酸や土壌の弱い酸に反応してゆっくり溶け出すので、前作収穫後から施用可能です。田植え前までは40〜60kg/10a、中干し前は20〜40kg/10aを目安に散布しましょう。



柑橘

寒波襲来後の対応について

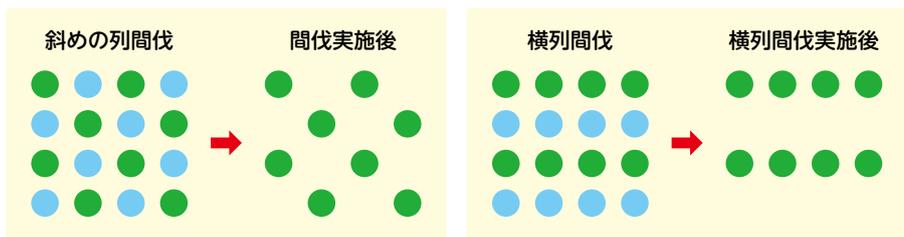
寒波襲来後に収穫した果実は、す上がりや苦みが発生する恐れがあります。寒波前と寒波後に収穫した果実は分けて貯蔵し、選別時は寒波被害果が混入しないように注意してください。

土づくり

堆肥などの有機物を施用することで、土壌の通気性や排水性、保水性など物理性の改善を図れます。また、新根が増加しやすい環境となり、異常気象に左右されにくい樹づくりのための資材として重要となります。また、各園地の土壌pHに応じて石灰質資材を必要量施用します。石灰成分は土壌中で移行しにくいため、中耕を行なって土や堆肥と混和しましょう。

密植園の間伐

密植園では作業性が悪く、防除、施肥、収穫など様々な仕事の効率が悪くなり、樹と樹の枝先が重なり合っており、交差しているような人が通りにくい園地は密植園と言えます。そのような園地ではせん定をする前に、まず間伐を優先して行なう必要があります。



※●は永久樹で、●は間伐樹

落葉果樹

落葉果樹

今年中に、冬の管理である整枝・せん定や土づくりを終了させます。また、今月末から来月にかけて越冬病害虫の防除も始まります。生育状況をみながら計画的に作業を進めていきます。

整枝・せん定の見直し

先月に引き続き、整枝・せん定を行ないません。今月から暖かい園地では、樹液の流動が始まります。樹液の流動が始まると、切り口の癒合が悪くなったり発芽が遅れたりするおそれがありますので、遅くとも今月中頃までには終了させます。せん定が終了した園地でも見直しを行ない、枝の配置、病害虫被害枝や枯れ枝等が残っていないかを確認します。

園内清掃と粗皮剥ぎによる越冬病害虫対策

引き続き越冬病害虫の密度低下を目的に落葉やせん定後の枝、残果、ブドウの巻きヅルなどが残っていないか確認します。また、カキやブドウでは粗皮剥ぎ(削り)をして、越冬場所をなくします。



ブドウ樹皮下のカイガラムシの卵のう

表 石灰硫黄合剤の樹種別散布時期の目安

種類	時期	適用病害虫	使用倍数
モモ・スモモ	2月下旬～3月上旬 (発芽前)	縮葉病・越冬病害虫	7～10倍
カキ	3月上旬～下旬 (発芽前)	越冬病害虫	7～10倍
イチジク	3月中～下旬 (発芽前)	越冬病害虫	7～10倍
ブドウ	3月中旬～下旬 (発芽前)	越冬病害虫	7～10倍

※石灰硫黄合剤(写真)の容量は18ℓと10ℓがあります。
 ※ブドウに散布する際は、晩腐病対策のためベンレート水和剤500倍を混用し散布する。

灌水
 この時期の灌水は、肥料の分解や吸収促進、発芽揃いを良くするなど初期生育に影響を与えます。降雨が少なく土壌が乾燥するようであれば、灌水を行いません。

病害虫防除
 発芽前に、越冬病害虫の防除を目的に「石灰硫黄合剤」(写真)を散布します。「石灰硫黄合剤」を使用する際の注意事項は以下の通りです。注意し、樹種別の生育ステージ(表)にあわせて散布を進めていきます。



石灰硫黄合剤

石灰硫黄合剤の使用の際の注意事項

- ・展着剤を加用し、調整液は速やかに使用すること。また、散布の際は散布ムラがなく洗うようにして丁寧に行なうこと。
- ・近くの建物や自動車等の塗装面にかからないようにすること。万一かかった場合はすみやかに水洗いすること。
- ・強アルカリ性のため噴霧器、その他の器具など腐食しやすいので作業後は、使用した噴霧器、その他の器具は十分洗浄すること。
- ・散布液調整時、また散布中はマスク、不浸透性手袋、メガネ、防除着を着用すること。
- ※使用する前には、必ずラベルに記載されている使用方法を確認ください。

家庭菜園

少しずつ暖かくなっていますが、まだまだ寒い日が続いています。畑の野菜が少なくなってきたこの時期に重要な作業は土づくりです。今後の野菜作りの土台を作りましょう。

土づくりとは…

- ・物理性(排水性・保水性)
 - ・化学性(保肥力、酸性度)
 - ・微生物性(多種多様な微生物)
- の三つを向上させることです。

・物理性
 土の団粒構造を向上させ適度な大きさ、硬さにすることで排水性、保水性を向上させ、根の伸長を容易にします。また、酸素の供給力を向上させます。

・化学性
 作物にとって適切な酸性度に矯正し、肥料の保持力を向上させる。雨により土壌が酸性に傾きやすいため、石灰質肥料により酸性度を矯正したり、施用した肥料成分を土壌中に保持し流亡することを抑制します。

・微生物性(生物性)
 微生物の多様性を維持向上させることで病害の発生抑制や物理性、化学性の向上にも大きく影響します。

この三つを向上させることで作物にとって生育しやすい環境を整えることを土づくりと呼びます。
 この土づくりを行なえる主な資材(いわゆる土壌改良剤)は「堆肥」です。堆肥の種類別に効果と特性についてご紹介します。

・牛糞堆肥
 肥料成分が少なく土壌での分解が緩やかなため土壌改良効果が高い。

・バーク堆肥
 樹木の皮などを発酵させて作った堆肥。土壌改良効果が非常に高く、肥料分は極めて低い。

堆肥の種類としては主にこの二つになりますが、同じ堆肥でも熟度により違いがあります。

・完熟たい肥
 においが少なく安定した状態の堆肥。雑草の種子も発酵過程で死滅するため雑草の混入リスクは低い。土壌改良効果が長期間持続する。

・未熟堆肥
 刺激臭や腐敗臭がする場合がある。土壌改良効果は持続せず、窒素飢餓やガスわき、雑草種子混入のリスクがある。

代表的な堆肥についてご紹介しましたが、土壌改良を目的にする場合は牛糞堆肥やバーク堆肥の使用がおすすめです。また、未熟堆肥より完熟たい肥のほうがおすすめです。これらに着目していただき今年の野菜作りの土台「土づくり」を行なってみてください。

完熟の牛糞堆肥には、「こだわり健康肥」がありますので、ぜひ使用してみてください。



▶ Information お知らせ

かがやき通信 女性部活動

女性部大会・家の光大会 開催

JA女性部三原地区本部は12月10日、三原市のJAビルで「女性部大会・家の光大会」を開き、管内13支部の女性部員をはじめ、JA役職員ら約130人が出席しました。女性組織活動体験発表や「家の光」を活用した体操の他、「ACP(人生会議)について」をテーマに小泉病院認知症疾患支援センターによる記念講演を行ないました。

大会申し合わせでは、教育・生活文化活動を通して地域で支えあう組織づくりに取り組み、組合員・JA・地域とともに協同の輪を広げることなど5項目を確認しました。

即売コーナーでは、支部自慢の手芸品・加工品や特産ミカンの販売が行なわれ、大盛況でした♪



今年度はJA組織3か年計画『あい♡』からはじまる「元気な地域」をみんなの力で」の実践初年度。JAを抛り所に、ゆとりとふれあい、助けあいのある住みよい地域社会づくりを実践しよう。



女性組織活動 体験発表

座りながら踊る「椅子フラ」を楽しむ女性部員



「家の光」記事活用 展示作品



挨拶をするJA女性部 三原地区本部 下久保幸子部長

やさふれあい市場三原店・本郷店 歳末大感謝祭

やさふれあい市場三原店・本郷店で12月27日、1年間のご愛顧に感謝を込めて年末大感謝祭を開きました！店頭では沢山の冬野菜や正月花、精肉、鮮魚の他、焼きたてのチヂミやおでんなどを販売し、多くの方で賑わいました。ご来店いただいたみなさまありがとうございました。



毎年大人気の ミカン詰め放題



米5合升 盛り放題

女性部による地元野菜 たっぷり豚汁のおもてなしで心も体もぽかぽか♪本郷店では具沢山の炊き込みご飯も販売しました。



3月 お知らせカレンダー

※予定が変更する場合があります。ご了承ください。

【アグリセンターの休日】

三原 三原西 本郷 久井 鷺浦 せとだ 竹原

【営業時間】

8:30～17:00

【年金相談会 開催時間】

10:00～16:00

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
三原						本郷	三原					年金相談会		三原				本郷	三原	三原							三原		※棚卸	
三原西						久井	三原西							三原西				久井	三原西	三原西							三原西			
本郷						せとだ	本郷							本郷				せとだ	鷺浦	本郷							本郷			
久井						竹原	久井							久井				竹原	せとだ	久井							久井			
鷺浦							鷺浦							鷺浦							鷺浦						鷺浦			
せとだ							せとだ							せとだ							せとだ						せとだ			
竹原							竹原							竹原							竹原						竹原			

※棚卸業務実施のため店舗を閉店します。ご了承ください。